

あいのり

Monthly

2024.8.30



PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT

8月のマーケット概要

8月は、日経平均が8月5日に1日で史上最大の下落幅▲4451円（▲12.4%）を示現するなど印象的な月となりました。直接の背景としては、7月末の日銀金融政策会合後の植田総裁の会見で更なる引上げを示唆したこと、また同日FOMC後のパウエル議長の会見ではハト派的内容だったことから、2つの対照的な見解から為替が大きく円高に振れると同時に日本株安へ動いていきました。その流れの中、2日の米雇用統計で失業率が4.3%へ上昇し、急速に米国の景気不安が高まり、株式市場が世界的に大きく下落しました。

その後は、日銀副総裁の火消し発言や、米国の経済指標が予想比上振れるなどを受け、株式市場は回復し、NYダウなどは史上最高値まで戻すものもある一方、日本株は、円高が引き続き進み、日経平均は、月末時点では最安値からは23%戻ったものの、7月の史上最高値からは約10%程度下方で引けています。

現状のマーケットは、今までの懸念材料であったインフレは鎮静化が既定路線になり、米国経済が景気後退（ハードランディング）になるかどうかにもつぱら注目が集まっています。米国経済を根底で支えているのは雇用ですので、それが崩れなければ、不確定要因である日本の選挙や11月の米大統領選挙までは一時的に弱含むことを想定しますが、企業業績も来年は加速する見通しであることを勧奨すると、その後は年末に向けた株式市場の上昇をメインシナリオとしています。

※X（旧ツイッター）にも日頃のコメント（つぶやき）を掲載しておりますのでご参照いただければと思います。



左記のQRコードよりXアカウントにアクセスいただけます。
パリティアセットマネジメント【公式】
@PM_Asset

パリティアセットマネジメント
ファンドマネージャー
宇野 隆一郎



コードモファンド 変幻自在ずーっとおまかせ

【8月の運用コメント】

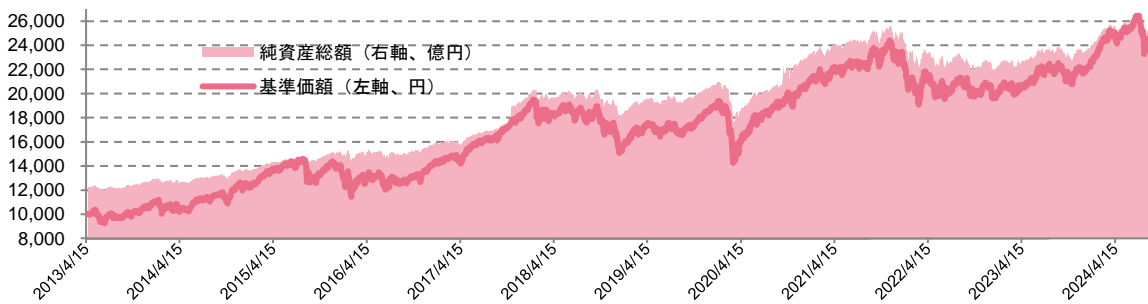
基準価額は月間で▲2.53%となり、年初来で+10.35%となりました。月末時点の外貨建て資産は全体の35%ですが、為替ヘッジにより外貨建てリスクは実質22%となっております。今月円高に推移したことによるポートフォリオへの影響度は約▲0.8%でした。

上昇に寄与したのはピクテ・ゴールド（為替ヘッジ付）（騰落率+4.85%）などでした。下落の寄与が大きかったのは、モーラント（騰落率▲4.58%）、ニッポン・グロース（同▲6.18%）、ジェイ・リバイブ（同▲3.00%）などでした。

8月中の売買は米金利下落によりルーメン・ベトナム・ファンドを新規購入し、ピクテ・ゴールド（為替ヘッジ付）、日経225のETFなどを追加購入しました。また一方、欧州株式ストーンヘイジなどを一部売却しました。

月末時点のキャッシュ比率は前月の21.65%から18.76%へ僅かに減少しております。

基準価額と純資産総額の推移



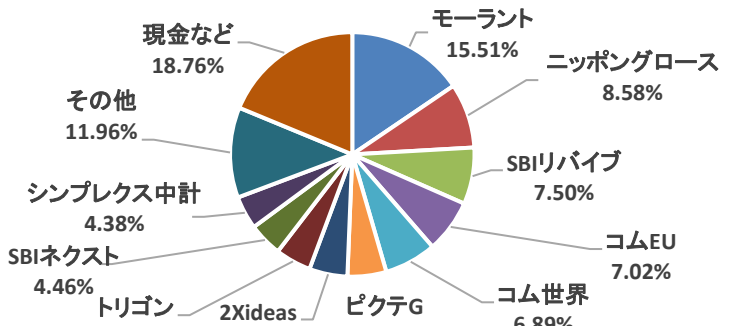
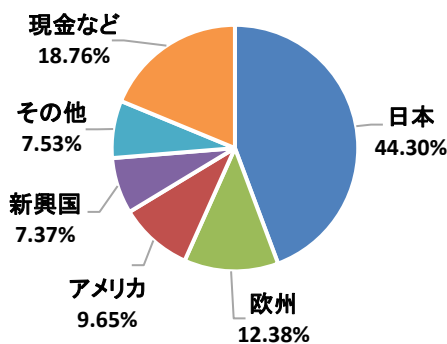
組み入れファンドTOP5 基準価額の前期比

モーラント	-4.58%
ニッポングロース	-6.18%
SBIリバイブ	-3.00%
コムジェストEU	-1.33%
コムジェスト世界株式	-3.05%

コードモファンド概況

基準価額	24,522円	信託期間	無期限
純資産総額	10,961百万円	決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)
設定日	2013年4月15日		

資産構成比率（組入ファンド全19本）（左：国別、右：ファンド別）



期間別騰落率(%)

1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	設定来
-2.53%	-2.20%	0.09%	10.35%	8.09%	47.84%	113.03%	145.22%
					(複利年率)	(複利年率)	(複利年率)
					(8.12%)	(7.85%)	(8.20%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用
(信託報酬)

年率1.10%(税抜き1.0%)

組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.75±0.5%(税込/概算)

浪花おふくろファンド

じっくりどっしり長期運用

【8月の運用コメント】

基準価額は月間で▲1.54%となり、年初来で+11.62%となりました。月末時点の外貨建て資産は全体の40%ですが、為替ヘッジにより外貨建てリスクは実質21%となっております。今月円高に推移したことによるポートフォリオへの影響度は約▲0.7%でした。

下落の寄与が大きかったのはコムジェスト世界株式（騰落率▲3.05%）、日本中小型株式ジェイ・リバイブ（同▲3.00%）などでした。

8月中の売買は、日経225のETFなどを追加購入し、一方でジェイリバイブを一部売却しました。月末時点のキャッシュ比率は18.13%となり、前月（18.79%）比殆ど変更ありませんでした。

基準価額と純資産総額の推移



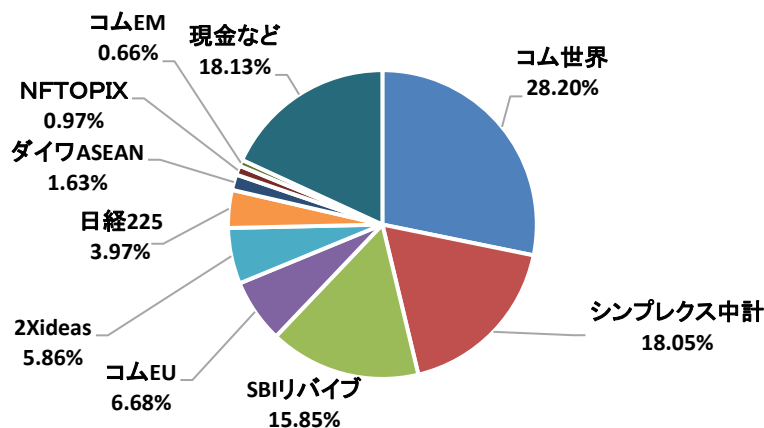
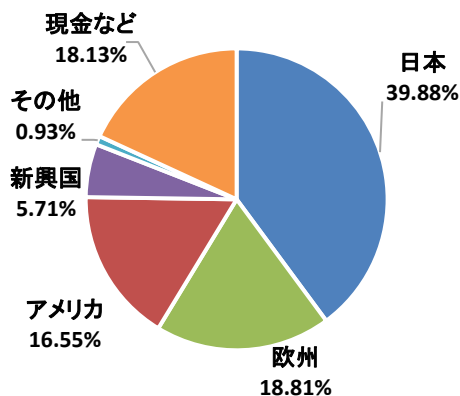
組み入れファンドTOP5 基準価額の新月比

コムジェスト世界株式	-3.05%
シンプレクス中計	-0.53%
SBIリバイブ	-3.00%
コムジェストEU	-1.33%
2Xideas	-2.70%

浪花おふくろファンド概況

基準価額	30,343円	信託期間	無期限
純資産総額	1,875百万円	決算日	毎年3月3日
設定日	2008年4月8日		(休業日の場合は翌営業日)

資産構成比率(組入ファンド全9本)(左:国別、右:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	設定来
-1.54%	-0.92%	1.00%	11.50%	12.98%	55.10%	116.36%	203.43%
					(複利年率)	(複利年率)	(複利年率)
					(9.16%)	(8.01%)	(7.00%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬)	年率0.99%(税抜き0.9%) 組み入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.65±0.5%(税込/概算)
------------------	---

コドモファンド・浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売は株式会社パリティアセットマネジメント/金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2727号

※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

「令和の米騒動」、そして未来へ



収穫間近のスーパーブランド米

今年の夏、思いがけない騒動が日本を駆け抜けました。そう、米不足騒動です。当初は去年の猛暑による不作や、増加するインバウンド需要が原因だと囁かれていました。しかし、実際のところ 2023 年産のお米の作況指数は「101」。平年並みなのです。インバウンドの影響も、滞在中毎食お米を食べたとしても 0.5%程度。さて、真犯人は一体誰なのでしょう。

実は、お米の値段は春以降じわじわと上昇していましたが、急激な変化が訪れたのは 8 月 5 日の週。前年比で何と 179.9%もの急上昇です。この時期に起こったのが、あの「南海トラフの臨時情報」。その後、関東での地震の連続もあり、さらなる上昇を後押ししたようです。

ここで、地震予知について少し寄り道をさせてください。私が理事長を務める島根県の奥出雲多根自然博物館。その初代名誉館長は、東大名誉教授の竹内均先生でした。科学雑誌「ニュートン」の創刊者であり、地震のメカニズム解明に貢献した地球物理学の権威です。映画「日本沈没」（新作ではなく、申し訳ありませんが古い方です）に実名で出演し、丹波哲郎扮する総理大臣の前で地震を解説したほどの方でした。

その竹内先生から繰り返し聞かされたのが、地震予知の難しさです。先生の持論は「予知に大金をつぎ込むより、必ず起こる地震の被害を最小限に抑える対策にこそ投資すべき」というものでした。理論だけでなく実践も重んじた先生は、ガス会社と協力し、一定の震度で自動的にガスの元栓が閉まる仕組みを作り上げました。これにより、火災などの二次被害を大幅に減らすことができたのです。

今回の南海トラフ臨時情報。日向灘を震源とする最大震度 6 弱の地震を受け、初めて発令されました。マスコミも大々的に報じ、多くの人が不安に駆られたことでしょう。検討会としても、予算を得ている以上、何かアクションを起こさねばならなかったのかもしれませんが。ただ、マスコミの派手な報道ぶりには注意が必要です。視聴率至上主義に惑わされず、冷静に対応したいものです。とはいえ、日頃の備えは怠りなく。

この騒動、迷惑な面もありましたが、久々にお米の大切さを再認識するきっかけにもなりました。実は、今回の問題の根底には、長期的な米の生産量減少があります。一人当たりの消費量は 1962 年の 118kg から 2022 年には 51kg まで落ち込み、1971 年から 2018 年までの減反政策もあって、作付面積は 262.6 万ヘクタールから 134.4 万ヘクタールへ。生産量も 1078.2 万トンから 716.6 万トンへと激減しています。

この生産量の減少に加え、農家の所得問題も深刻です。懸命に作っても、赤字になるケースも少なくありません。そして、さらに日本の稲作を脅かしているのが農家の高齢化です。先祖代々の農地や稲作の伝統を守り続けてきた農家の多くが、今や高齢化の波に飲み込まれています。日本の基幹産業を支えてきたこれらのベテラン農家が徐々に引退していく中、その技術と知恵を受け継ぐ若い世代が不足しています。このままでは、彼らがいなくなった後、誰がお米の生産を担っていくのか。日本の食卓を支える「農」の未来が、今まさに危機に瀕しているのです。

そんな中、希望の光となる取り組みをご紹介します。奥出雲の博物館では「暮らせる博物館プロジェクト」の一環として、スーパーブランド米の生産を今春からスタートしました。単なる味だけでなく、「環境」にもこだわったお米です。山から流れる自然水をそのまま使い、多様な生き物が息づく「生きた田んぼ」で育てた、生命力溢れるお米なのです。生きた田んぼを守るために農薬や除草剤を使わず、水の管理や土の状態に気を配り、時間も手間も多くかけ、よりよい品質のお米づくりを目指しています。

名高い「仁多米」の産地でもある当地で、さらに高品質なお米を作り、その労働力と時間の価値を認めた価格でお米を買い取る仕組みをつくることで、若い生産者の移住や育成にもつなげていく。そんな意気込みのプロジェクトです。新米の季節を迎え、このお米をご希望の方は下記までご連絡ください。数に限りはありますが、パリミキアセットのお客様に特別に確保させていただきました。初年度特別価格として、5kg を玄米 6,000 円、白米 7,000 円（送料別）でご提供いたします。

日本の食文化と農業の未来を支える、新しいお米の物語。ぜひ、皆様のご支援をお願いいたします。

■ご連絡先

株式会社パリミキアセットマネジメント

（受付時間：平日 9 時～17 時）

- ・お客様専用通話料無料ダイヤル:0800-5000-968
- ・E-mail: support@pmam.co.jp



(株)パリミキホールディングス

代表取締役会長

多根 幹雄



チームあいのり

BIG ファミリーの夏休み



毎年、8月のはじめに家族、親戚集まって白馬の山小屋へ避暑に行きます。もう35年以上の毎年夏の行事（たまに冬スキーもありますが）です。今年は、12名、過去最大は15名だったと思います。この山小屋自体は、45年位前に、当時の広島大学山岳部OBの有志15名がお金を出し合い建てたもの、改修を何回か行い、一回は完全に建て替えました。義姉の関連で、我々も利用させていただいています。

ウチの家族は、子供も孫も料理が大好きで特にBBQでは、いろんな新しいアイデアで楽しみます。今回は、別に来る2グループ（4×2）8名から要請を受け、20名分の大宴会となりました。出発の前日に肉類は買い出しをし、下ごしらえ、ワインなども車に積んで当日の明け方3時ごろ千葉県の実家を出発、息子家族は豊洲で仲卸の友達に頼んだ鮮魚をピックアップして、姪っ子家族は都内からそれぞれ車を出発、中央高速の談合坂SAで5時30分ごろ合流、朝ご飯を食べて一気に白馬の山小屋へ。

休憩後すぐ買い出しです。野菜類、追加のアルコールその他、昨年、初めて知り合ったハンター兼キャンプ場の管理人さんのところで鹿、イノシシのジビエを仕入れました。

17時のBBQ開始に向け、仕込み、会場準備。少雨の天気予報なので巨大タープを張ります。

今回のBBQのメインは、本格的に藁で焼くカツオのたたき、その他、刺身用のサーモンの柵、ホタテ貝、天使のエビなどの海鮮が巨大なトロ箱にぎっしり入ってました。もちろん、毎年恒例のステーキ肉も一人200gで準備してあったので、ビール、スパークリングワイン、ハイボールなどで、どんどん胃袋に収めていきましたが、さすがに20人でも食べきれず、続く二日間の食事にいろんな形に変化して登場しました。



参加の2グループのメンバーからは、「大変満足でした。次回は、食べたいものをあらかじめオーダーしますのでよろしく。」と再会を約束されました。また、ちょっとハードル上がった感じです。楽しみです。

※そのうちたねころ山ツアーでも、タイミングが合えば「カツオのたたき」やりますかね。たねころ山でのメニューは、ピザ以外は、ほとんどここで試したものです。



パリミキアセットマネジメント
代表取締役社長
磯野 昌彦

ヴィンテージになれるかもツアー4 奥出雲

パリミキアセットは、これまで「ヴィンテージになれるかもツアー」を2017年（ジュネーブ）2018年（パリ）2019年（奥出雲）と毎年開催してきました。以降コロナ禍等もあり、遠のいていましたが、いよいよ再開することになりました。今回は、場所は第3回と同じですが、さらに進化してきた奥出雲に皆様をお連れしたいと思います。

奥出雲多根自然博物館は、パリミキホールディングスの前会長 故多根裕詞氏の膨大な化石コレクションを、地球物理学者の故竹内均氏（科学雑誌『Newton』初代編集長。）の監修により、宇宙の進化と生命の歴史をテーマに展示を行う資料として、奥出雲町佐白に設立されたもので、現在パリミキホールディングス会長の多根幹雄は、当博物館の理事長でもあります。

すでに設立から30数年を経っていますが、昨今の恐竜ブームと「泊まれる博物館」として家族連れにナイトミュージアムが大ヒットし、テレビ番組「坂上&指原のつぶれない店」（2018年）で紹介されて以来、NHKなどでも度々紹介されたこともあり、休日は連日満員御礼状態と全国でも注目の博物館です。

今回のツアーではそんな人気の泊まれる博物館や、たたら製鉄で財を成した櫻井家（TVドラマVIVANTのロケ地）、ちょうど開催される「砂の器記念イベント」-福澤監督のトークショー・砂の器コンサートなどにも参加、たたらと刀剣館など盛りだくさんの見どころが用意されています。また、収穫したての新米をはじめ、秋の味覚もしっかりお楽しみいただきます。博物館周辺も、神話のふるさとと美肌温泉、美しい自然とみどころが満載。またツアーの後半には、出雲大社なども組み入れていますので、この機会に是非奥出雲を訪れてみてはいかがでしょうか？ 皆様のご参加をお待ちしております！

10月19日（土）～21日（月）

参加費用等について

定員：25名 参加費：帰路が出雲空港⇒伊丹空港の場合 77,000円
 帰路が米子空港⇒羽田空港の場合 82,000円 を予定しております。

会場

島根県奥出雲

ツアーの詳細なスケジュールにつきましては、ホームページ内のお申込ページからご確認いただけます。

【前回の奥出雲ツアーの様子】



パリミキアセット運用報告会 2024秋

〈東京〉 10月25日（金）18:30～20:00

参加費用等について

定員：対面【25名】 ネット中継【30名】

参加費：無料 ※交流会にご参加の場合は2,000円

会場

パリミキアセットマネジメント 会議室

東京都中央区銀座二丁目8番4号 泰明ビル2F
 （ビル1階はカフェ・ベローチェです）
 （東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」11番出口 徒歩1分）
 （東京メトロ銀座線、丸ノ内線、日比谷線「銀座駅」A13番出口 徒歩4分）

〈大阪〉 10月28日（月）18:00～20:00

参加費用等について

定員：25名 ※大阪は対面のみ開催

参加費：無料 ※交流会にご参加の場合は2,000円

会場

パリミキ アメリカ村店2F サロン

大阪府大阪市中央区西心斎橋2丁目10番30号
 蔵人西心斎橋ビル2階
 （大阪メトロ「心斎橋駅」8番出口 徒歩4分）

【電子交付サービスをご利用のお客様へ お知らせ】

この度、マイページ上で、NISA口座の残高・取引履歴の確認、購入注文連絡等をしていただけるようになりました。機能拡充に伴い、現在電子交付サービスをご利用のお客様で、マイページ未開設のお客様につきましては、**2024年10月1日より、自動的に「お客様マイページ」を開設させていただきます。**

2024年9月末にメールにて、ログイン情報をお知らせいたします。マイページにログインのうえ、ログイン情報の変更をしていただきますようお願い申し上げます。

「お客様マイページ」では、日々の評価額、評価損益の状況をご覧頂く事が可能です。マイページ開設後は、「取引報告書」など取引に係る書類をマイページ上に電子交付させていただきますので、基本的に書類の郵送がなくなります。

書類の郵送を希望されるお客様は、2024年9月27日（金）17：00までに「電子交付サービス利用解除」のご連絡をお願いします。

【お手続き方法】 ホームページ⇒各種お手続き⇒ホームページもしくはお電話のみ完了するお手続き「メールアドレス・レポート受取方法変更」フォーム送信またはお電話にてお手続きください。

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者（投資者）の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありません。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は株式会社パリミキアセットマネジメントが運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料中に示された数値は、作成基準日現在において入手可能なデータを参照し、弊社にて計算しております。

毎月つみたてスケジュール

次回引落日は、**10月7日（月）**です。

10月分金額変更・中止・再開締切日…**9月24日（火）**

11月分新規・口座変更締切日…**10月2日（水）**

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話・マイページ上（再開を除く）でも承っております。

再開につきましては、書類でのお手続きとなりますので、お電話・マイページ上・ホームページ上にて用紙をご請求ください。



株式会社パリミキアセットマネジメント
(受付時間：平日9時～17時)
お客様専用通話料無料ダイヤル:0800-5000-968
E-mail: support@pmam.co.jp

PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT